

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 16 日

事務事業名		取水・浄水施設管理運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050601000598
						単独/補助	単独	所属課	070201
政策体系	総合計画の施策名	0506		上水道の整備				課長名	水道課
	政策名	05		快適な暮らしのまちづくり				グループ	工務グループ
	施策名	06		上水道の整備				担当者名	
	手段名	01		①上水道の安定供給					
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (年度~)		
	09	00	00	00	00	00	→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		
法令根拠									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
現在、一日最大給水量14,100m3計画として事業を実施しているが、その内、県営用水供給事業により9,500m3/日を受水し、残りについては市内に8か所ある取水施設から茨城県より一日最大採取量4,500m3の許可を得て採取している。それらの取水・浄水施設を適正に維持管理している。	取水施設及び浄水施設の定期的な点検と修繕
手段	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
取水施設及び浄水施設の定期的な点検と修繕	修繕した取水・浄水施設	箇所	7.00	13.00	7.00	7.00	7.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
取水及び浄水施設	地下水採取許可水量	千m3	7.69	1,642.50	1,642.50	1,642.50	1,642.50
	浄水処理可能水量	千m3	7.69	1,292.10	1,292.10	1,292.10	1,292.10
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
適正な維持管理のもと取水・浄水し、給水に必要な水道水を確保する	年間取水量	千m3	1,341.00	1,292.10	1,292.10	1,292.10	1,292.10
	年間浄水量	千m3	1,341.00	1,292.10	1,292.10	1,292.10	1,292.10
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定 総投入量	
		県支出金	千円	0	0	0		0
		地方債	千円	0	0	0		0
		使用料・手数料	千円	0	0	0		0
		その他	千円	0	0	0		0
		一般財源	千円	21,210	40,620	77,245		0
		事業費計 (A)	千円	21,210	40,620	77,245		0
		正規職員従事人数	人	5.00人	5.00人	5.00人		

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)			02年度事業費 予算 (千円)		
	15 工事請負費	40,620		15 工事請負費	77,245	
		合計	40,620		合計	77,245

事務事業名	取水・浄水施設管理運営事業	事務事業No.	50601000598	所属課	水道課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 現事業により給水を開始しており施設を安定運営していくうえで維持管理は必要不可欠である。 水道法の水質項目の追加や試験方法等年々複雑になっているため、改修時に使用する資材等適正な管理が必要になってきている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特にありません。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 安心安全な水を安定して送ることにより市民が安心して暮らせる。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市が経営するものと規定されている。水道料金により運営されているため税金は投入されていない。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 事業をしていくうえで必要な維持管理であるため。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 水を安定的に供給するためには必要であり、給水できなくなる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 取水及び浄水には類似となる事業がないため、統廃合や連携の余地はない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 施設の劣化が進んでおり維持管理は増大している。現状として一部委託を実施しているが、人件費を削減すると委託料が莫大になり人件費の削減余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 料金査定に組込まれているため公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	現在、一日最大給水量14,100m ³ 画として事業を実施しているが、その内県営用水供給事業により9,500m ³ /日を受水し、残りについては、市内に9ヵ所ある取水施設から茨城県より一日最大採取量4,500m ³ の許可を得て採取している。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○						
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○																		
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 ①																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>